

かわさき 図書館だより



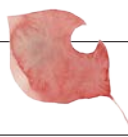
図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>



2016かわさき読書週間 イベント情報

10月30日(日)～11月12日(土)は「かわさき読書週間」です!

「読書のまち・かわさき」では、「かわさき読書の日」(11月第1日曜日)をはさんだ2週間で「かわさき読書週間」とし、図書館や学校などで様々な取り組みを行っています。今年も読書週間を中心に、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催いたします。ぜひご参加ください。

川崎図書館 大師分館 田島分館	11月13日(日)	川崎・大師・田島合同企画「おはなしキャラバン」 紙芝居・パネルシアター・てあそびなど 会場: アトレ川崎 1階 ツバキひろば	
幸図書館	10月6日(木)	大人のためのおはなし会	
日吉分館	10月22日(土)	リユース本配布会	
	10月22日(土)	ストーリーテリング秋のおはなし会	
中原図書館	11月11日(金) ～11月13日(日)	なかはら子どもとしゃかん ほんのもり 絵本の読み聞かせ(11月11日を除く)・絵本展示・学校図書館などの ボランティア紹介展示 ほか	
	11月12日(土) ～11月13日(日)	ぬいぐるみおとまり会	
高津図書館	10月13日(木)	介護予防講座 「いつまでも元気で過ごすための認知症予防に効果的なエクササイズ」	
	10月16日(日)	親子で科学の玉手箱 「偏光板を使ってカラフルアートを楽しもう」	
	10月22日(土) ～10月31日(月)	高津区の読書活動紹介展示 図書館で活動しているグループや学校図書館の活動紹介・ポスター・作品 などの展示	
橘分館	11月5日(土) ～11月6日(日)	リユース本の配布・本の展示 等	
	11月6日(日)	どんぐり広場 紙芝居中心のおはなし会	
宮前図書館	10月19日(水) 11月9日(水)	親子のおりがみ教室	
	11月13日(日)	親子で科学の玉手箱 「科学の力を利用してマジックに挑戦しよう」	
	11月28日(月)	大人が楽しむおはなし会	
多摩図書館	10月5日(水)	石坂浩二講演会	
	10月15日(土)	大人のためのおはなし会	
	10月22日(土) ～10月30日(日)	多摩区の読書活動紹介展示 図書館で活動しているグループや学校図書館の活動紹介展示 おすすめの児童書の展示	
	10月23日(日)	秋のおはなし会	
麻生図書館	11月1日(火)	大人が楽しむお話の会	
	11月16日(水)	秋の親子おはなし会 ～人形劇を楽しもう～	
柿生分館	10月26日(水)	秋のおはなし会	
	11月2日(水)	おりがみひろば	
教育委員会 指導課	11月6日(日)	第14回かわさき読書の日のつどい 作家・椎名誠氏による講演会「本の力 本の夢」 読書活動優秀団体表彰式、児童生徒の入賞作品(読書ポスター・標語など) の表彰・作品展示	

予告なしに変更する場合があります。申し込み方法・会場など詳しくは図書館ホームページに掲載しています。
お問い合わせは各図書館、「読書の日のつどい」は教育委員会指導課(電話044-200-3243)へ。

第30回

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。

今回は、10月6日（木）に行われる読書普及講演会「昔話はおもしろい」にあわせて、講師である小澤俊夫氏の著書をご紹介します。

川崎市在住の小澤氏は、昔話研究の第一人者としてご活躍されており、1998年に登戸に設立された「小澤昔ばなし研究所」で昔話研究と実践、また若手研究者の育成にあたられています。



A：『こんにちは、昔話です』

小澤俊夫／著 小澤昔ばなし研究所 2009

全国で講演をされている小澤先生の講演録「昔話が語る子どもの成長」と昔話講座の二部構成。講演録はテンポよく、講座の方も講義を聞いているようにすらすらと

読み進めることができます。知っているようで知らない昔話をやさしく解説した昔話講座の入門編です。



A

B：『昔ばなし大学ハンドブック』 小澤俊夫／著 読書サポート 2016

「昔話を、本来の、簡潔で明瞭な文体の姿で次の世代に渡したい」との思いから始まった「昔ばなし大学」。「学ぶ人が、昔話本や昔話絵本の良し悪しを見分ける耳と目を養うこと」を目的とした「昔ばなし大学」基礎コースの授業の一部の紹介です。



B

C：『語るためのグリム童話』

グリム／〔原作〕 小澤俊夫／監訳

小澤昔ばなし研究所／再話 オットー・ウベローデ／絵 小峰書店 2007

「ヘンゼルとグレーテル」「赤ずきん」などでおなじみのグリム童話。目で読む物語として作られたグリム童話を、お話をなまの声で聞くのが大好きな子どもたちのために耳で聞かせるためのグリム童話に「再話」。「再話」とは、今の子どもたちにわかることばで、本来の形を損なわずに、言葉や形を整える作業です。簡単明瞭なことばづかいで、語りや読み聞かせに最適です。全7巻。



C



D

D：『うまかたやまんば』

おざわとしお／再話 赤羽末吉／画 福音館書店 1988

うまかたが魚の荷を馬に積んで山道を行くと、恐ろしいやまんばが出てきて…。逃げる時のうまかたとやまんばのやりとりのスピード感に引き込まれます。後半のうまかたの知恵をつかった仕返しはスリルがありますが、ちょっとユーモラスでもあり、昔話のおもしろさを堪能できます。

E：『うらしまたろう』 おざわとしお／再話 かないだえつこ／絵 くもん出版 2016

亀を助けたうらしまたろうがお礼に竜宮城へ招かれ、帰りに乙姫様に玉手箱をもらって帰ってみると、家はなく家の人ももういません。玉手箱を開けてみると…。この絵本では、うらしまたろうはおじいさんにはなりません。昔話の終わり方は色々あり、この本では鳥取県で語り継がれていた昔話を元話としています。



E



F

F：『かさじぞう』

おざわとしお／さいわ むらたみちこ／さいわ しのざきみつお／え くもん出版 2005

貧乏なおじいさんがふぶきの中の穴地藏に笠をかぶせてあげた夜、お地藏様達はお礼に大判小判を運んできてくれました。日本各地の昔話を集めた「子どもとよむ日本の昔ばなし」シリーズ全30巻の1巻目になります。



2016

川崎フロンターレと本を読もう!

今年も川崎フロンターレと協働で、サッカーと読書活動を盛り上げます。

ひとみ座とふろん太くんの人形劇と工作（ペープサート）

川崎区（教育文化会館）11月 5日（土）→ 担当：川崎図書館

麻生区（麻生市民館）11月22日（火）→ 担当：麻生図書館

多摩区（多摩市民館）12月 4日（日）→ 担当：多摩図書館

高津区（高津市民館）12月20日（火）→ 担当：高津図書館

※ 詳細は、それぞれの担当図書館にお問い合わせください。



リーフレット「キックオフ! “読書のまち かわさき” Vol. 8」

フロンターレ選手が選んだおすすめ本を紹介するリーフレットを作成しました。

10月下旬から配布予定ですので、是非ご覧ください。

フロンターレ選手が選ぶ「わたしの1冊」

わが街・川崎のJ1サッカークラブ「川崎フロンターレ」と図書館との合同企画です。

第20回は、小宮山尊信選手が選ぶ1冊を紹介します。

『噂の女』 奥田英朗／著 新潮社刊 2012年

《内容紹介》 町で評判の、ちょっと色気がある女性が高校、大学、社会人と大人になるにつれて女性として磨かれていき、お金を手に入れ、女性の魅力を武器に男をてだまにとっていく。それぞれの時代で彼女に騙された男性の目線で描かれているので、実態がわからない。だから「噂」の女なのです。



KAWASAKI
Frontale



小宮山選手より

中澤聡太さん（現セレッソ大阪）が奥田英朗さんの本が好きで、それがきっかけで『イン・ザ・プール』を読み、この本は本屋であらすじを見て面白そうだなと思って買いました。最初はどこにでもいる女性だったのに、大きな野心を持って、そのためなら手段を選ばず行動していく。いろんな経験をしていくうちに金を手にして、最後はクラブのママにまだってしまう。ある意味での成長物語や、悪女っぽいところが面白い。30～50代の、独身男性よりも既婚男性におすすめ。こういう女性だったら騙されてもいいな、自分だったら騙されちゃうかもしれないな、という視点で読み進めていくと面白いはず（笑）。

【DF8小宮山尊信選手】

足下のテクニックと球際の激しさが武器。1対1の攻防でその力を発揮するDF。サイドバック・ウイングバック・センターバックをこなす貴重な戦力。

図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めの1冊をご紹介します。

多摩図書館長 深澤 洋子

■ルーシー・M. ボストン 『グリーン・ノウのお客さま』

「お薦めの一冊は？」と聞かれたときにまず、最初に思い出すのが、この『グリーン・ノウのお客さま』です。図書館で児童サービスの担当になって出会った一冊です。この本は難民の男の子ピンと動物園のゴリラのハンノーとの友情の物語です。私がそれまで抱いていたゴリラの怖いイメージが一新。ゴリラははにかみ屋で誇り高き動物！この本を読んでから、私は動物園に行くと、ゴリラの前で何時間もゴリラに見入ってしまうゴリラ好きになってしまいました。

檻に入れられて独りぼっちのハンノーを思いやるピン。動物園から逃げてきたハンノーをかくまうピンを信頼し続けるグリーン・ノウの持ち主オールドノウ夫人。グリーン・ノウの森で再会したピンを仲

間と認めていくハンノー。心に沁みる愛情深い物語で、人や動物にとって、自然（環境）がいかに大事なもののか、他者への気づきの大切さ、そして人間の世界の厳しい現実もしっかり描かれていて、子どもはもちろん、大人の方にもぜひ読んでいただきたい作品です。この本は『グリーン・ノウ物語』全6巻の4巻目。この作品でボストンは1961年度のカーネギー賞を受賞しています。

*カーネギー賞…イギリスで出版された児童書の中で、毎年、最もすぐれた作品に贈られる児童文学賞。



『グリーン・ノウのお客さま』
ルーシー・M・ボストン／作
ピーター・ボストン／絵
亀井俊介／訳 評論社

■多摩図書館

小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩5分、多摩区総合庁舎の地下1階にあります。自然採光を取り入れた「サンクンガーデン」が設置されていて、明るく、気持ちよい雰囲気の中で利用していただけます。文学関係、産業関係の本が豊富で、CDも所蔵しています。読書に親しんでいただけるよう子ども向けの「おはなし会」、郷土史関係のイベント、地域団体と連携して講演会等を開催しています。どうぞ、皆さままでご利用ください。

幸図書館の施設利用休止と臨時窓口設置のご案内

幸図書館は、大規模改修工事のため、施設利用を休止し、臨時窓口を幸市民館大ホールロビーに開設いたします。

施設利用休止期間：平成28年10月17日（月）～平成29年5月31日（水）

臨時窓口設置期間：平成28年10月22日（土）～平成29年5月31日（水）

（平成28年10月17日（月）～21日（金）は、施設及び蔵書点検のため、窓口業務を行いません。）

臨時窓口では次のサービスをご利用いただけます。

- ・ご予約された本やCD等の貸出
 - ・本やCD等の返却
 - ・貸出カードの作成
 - ・予約受付
- ※返却ポストは、従来どおりご利用いただけます。

お問い合わせは

幸図書館 電話 044-541-3915 FAX 044-541-4747

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011)	高津図書館(822-2413)	麻生図書館(951-1305)	大師分館(266-3550)	橋分館(788-1531)
幸図書館(541-3915)	宮前図書館(888-3918)		田島分館(333-9120)	柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932)	多摩図書館(935-3400)		日吉分館(587-1491)	菅覧所(946-3271)